



HI-BLASTER

松風ハイブラスター ペンシルタイプ サンドブラスター

取扱説明書



SHOFU INC.

このたびは、ハイブラスターをお求め下さいまして、まことにありがとうございます。

ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

松風ハイブラスターは技工作業の効率化と高度化を目的として開発されたペンシルタイプのサンドブラスターです。

あらゆる鑄造体からの埋没材の除去をはじめ、多種の研磨作業に効率よく使用できます。

特長

①ツイン方式採用

2つの砂タンクと2本のハンドピースを内蔵して、ガラスビーズとハイアルミナがスイッチ1つで使い分けられます。

②強力な研磨力

強い噴射力により能率の良い研磨作業が可能になりました。

③使い易いハンドピース

細く軽いハンドピースは、使い易く、ノズルの交換も簡単です。また、2つのハンドピースは色分けがしてあり、ガラスビーズとハイアルミナを誤って使うことはありません。

④少ないトラブル

吸引方式のためにコンプレッサーからの加湿空気による砂の湿りがなく、目詰りもほとんどありません。視窓からの粉塵漏れをなくしました。

目次

仕様・付属品	1
各部の名称	2
設置方法	4
研磨材の用途・使用方法	5
使用上の注意事項・保守点検	6
アフターサービスについて	9

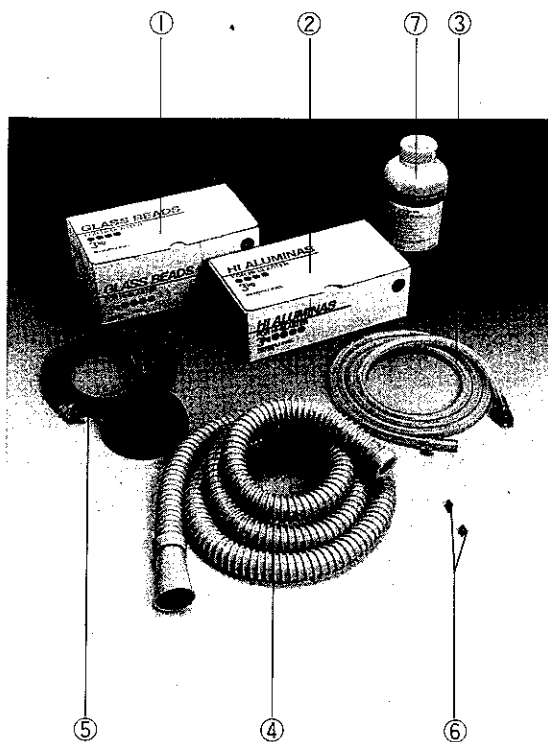
仕様

形式	SHB-20
電源	AC100V 50/60Hz
掃除器用 コンセント容量	800W
最高空気圧	8 kgf/cm ²
エアー消費量	42ℓ/分・5kgf/cm ² (ハイアルミナ用ノズル)
研磨材タンク	2槽内蔵
ノズル	超硬合金製 穴径小…ガラスビーズ用 穴径大…ハイアルミナ用
ハンドピース	ツイン切換方式 グリーン…ガラスビーズ用 オレンジ…ハイアルミナ用
照明ランプ	ミシン用100V-20W
使用研磨材	専用ガラスビーズ、専用ハイアルミナ
寸法	幅約420×奥行約451×高さ約375(mm) (但し排気口含む)
質量	約8.1kg

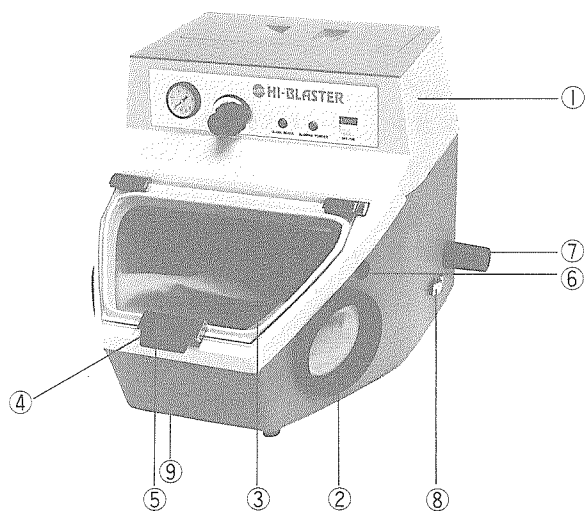
本仕様は改良のために予告なく変更することがあります。

付属品

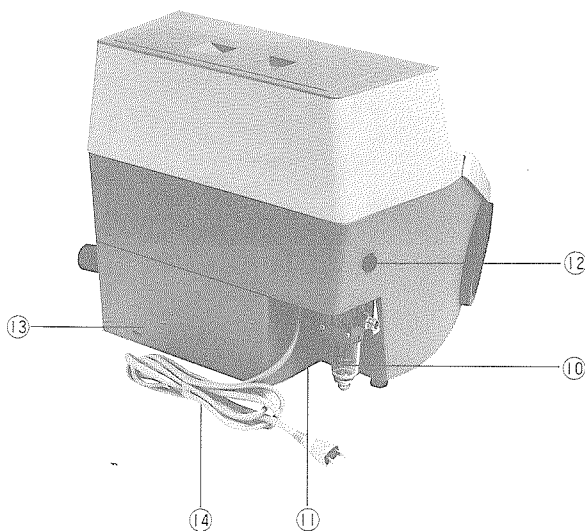
①専用ガラスビーズ	3 kg
②専用ハイアルミナ	3 kg
③排気用ホース 2 m	1本
④耐圧ホース 2 m (ホースユニオン、ホースバンド付)	1本
⑤フットスイッチ	1個
⑥スペアノズル (ガラスビーズ用、ハイアルミナ用)	各1個
⑦乾燥剤	



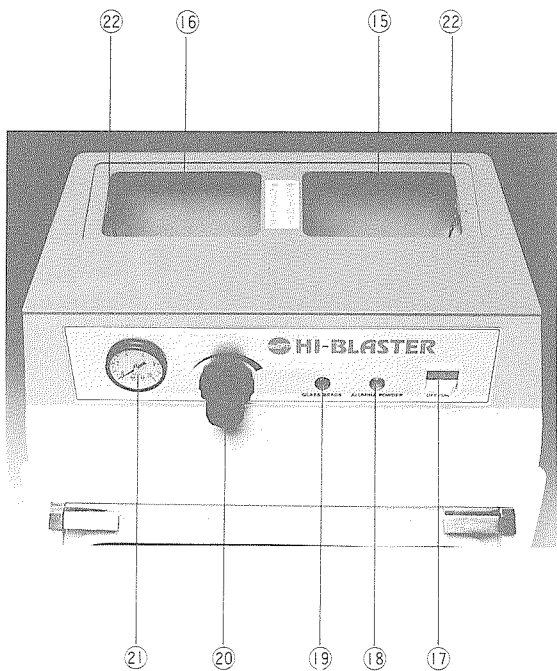
各部の名称



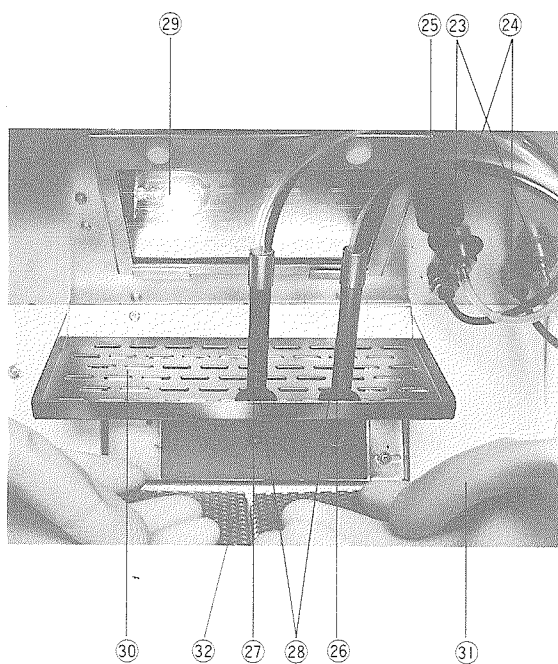
- ① 本体
- ② 手袋取付ゴムリング
- ③ 覗窓(硝子)厚さ5mm
- ④ 取手ベース(ラッチベース)
- ⑤ 取手(ラッチ)
- ⑥ 吸気口(ゴムキャップ付)
- ⑦ 排気口
- ⑧ ダストフィルタボックス止め金
- ⑨ 研磨材排出口(底面左手前)



- ⑩ エアーフィルタ
- ⑪ 掃除器用コンセント
- ⑫ フットスイッチ用コンセント
- ⑬ ダストフィルタボックス
(ダストフィルタ内蔵)
- ⑭ 電源コード



- ⑮ ハイアルミナ用タンク
- ⑯ ガラスビーズ用タンク
- ⑰ 電源スイッチ
- ⑱ ハイアルミナ表示ランプ(オレンジ)
- ⑲ ガラスビーズ表示ランプ(グリーン)
- ⑳ 圧力調節器ノブ
- ㉑ 圧力計
- ㉒ 乾燥剤用バスケット吊り金具



- ㉓ 研磨材用コネクタ
- ㉔ エアー用コネクタ
- ㉕ 研磨材切替スイッチ
- ㉖ ハイアルミナ用ハンドピース(オレンジ)
- ㉗ ガラスビーズ用ハンドピース(グリーン)
- ㉘ ハンドピースホルダ
- ㉙ 照明ランプ
- ㉚ 中棚
- ㉛ 手袋
- ㉜ キャビネット底板

設置方法

1. 本体左背部にあるエアフィルタとエアライン（約8 kgf/cm²以下）とを付属の耐圧ホース（ホースユニオン付）で接続します。（付属のホースバンドでしっかり止めて下さい。）
2. 圧力調節器で4～6 kgf/cm²に調節します。
3. 付属のフットスイッチのプラグを左側面フットスイッチ用コンセントに接続します。
4. 電源を接続します。
5. 付属の排気用ホースを排気口に接続して一端を屋外等に出して下さい。しかし、快適に作業をするために、小型掃除器（消費電力約800 W以下）の使用をおすすめします。この場合、掃除器のスイッチをONにして電源プラグを本体背面のエアフィルタ上の掃除器用コンセントに差し込み、吸塵ホースは本体右側面のゴム製排気口に接続し、右ゴム手袋斜め上の吸気口ゴムキャップは取除いて下さい。

（掃除器を使わない時はゴムキャップを付けたまままでご使用下さい。）

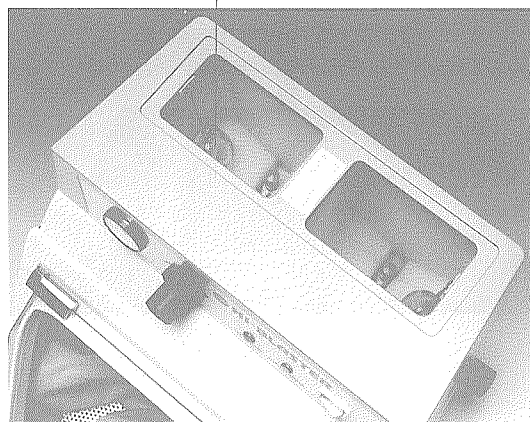
6. 研磨材の補給

本体上部の蓋をとり、ガラスビーズは正面から見て左側のタンクに、ハイアルミナは右のタンクに入れます。蓋は元通りに乗せて下さい。

7. 乾燥剤をバスケットに入れて下さい。



③③ 乾燥剤用バスケット



研磨材の用途

■専用ガラスビーズ

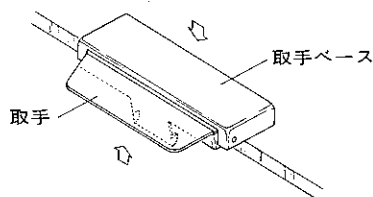
1. 鋳造体からの埋没材・酸化膜の除去(軟質合金)
2. 鋳造冠、鋳造床等金属表面の部分的研磨
3. 鋳造冠内面の研磨
4. 古い義歯等の付着物の除去

■専用ハイアルミナ

1. 鋳造体からの埋没材・酸化膜の除去(硬質合金)
2. 鋳造冠、鋳造床等金属表面の部分的研磨
3. メタルボンド金属冠、陶材焼成面の表面処理
4. メタルボンド金属冠より陶材の除去

使用方法

1. 取手を引き上げて視窓を上方に開け、被研磨体を入れます。…中棚をご利用下さい。閉じるときは、取手ベースをフックがかかるまで押えます。



2. 電源スイッチを入れ左右のゴム手袋を通して被研磨体とガラスビーズ用又はハイアルミナ用ハンドピースを持ち、フットスイッチを踏んで噴射させます。切り替えスイッチとパイロットランプ

※グリーン…ガラスビーズ } 切替スイッチはキャビネット内にあります。
※オレンジ…ハイアルミナ }

3. ノズルを近づけるほど研磨力は強くなりますが研磨範囲は小さく、離して用いると研磨力は弱くなりますが研磨範囲は大きくなります。通常は5～20mmの距離でお使い下さい。
 - 空気圧は4～6 kgf/cm²の範囲で適宜加減してお使い下さい。
 - 視窓の内面には、保護のためビニールシートが貼付してありますが、ノズルはなるべく窓硝子から離して使い、窓硝子に直接噴射させないで下さい。使用につれビニールシートが痛(傷)んだ場合は、市販ビニールシート或はサランラップの使用をおすすめします。
 - ノズルは直角に当てないで斜めから噴射させると効率良く研磨できます。
 - フットスイッチを踏んでいる間だけ噴射します。
 - 掃除器をハイブラスター本体裏面のコンセントでお使いになる場合は、ハイブラスターの電源のON-OFFで掃除器もON-OFFします。
4. 使用済みの研磨材はキャビネットの底に溜りますから時々本体を机上より少し前にだし、前部左下のゴム栓を取り本体を手前に傾けて研磨材を取り出して下さい。

使用上の注意事項■

1. 研磨材を追加される時にタンクを間違わないで下さい。又蓋は確実にしめて下さい。
2. ハイ-ブラスター専用(松風ペン-ブラスターと兼用)のガラスビーズ、ハイアルミナを必ずご使用下さい。
3. 研磨材は使い捨てです。再使用はゴミや異物が混入してトラブルの原因となります。
4. もし何らかの原因で研磨材が出ない場合は、次の方法を試みて下さい。
……ノズルを指先でふさぎ、フットスイッチを踏んで逆噴射させます。但し、逆噴射は短時間とし、又タンク内の研磨材が多いと効果がない場合があります。
- 5 研磨材用コネクタの空気穴が詰まると研磨材が多くなりますから穴をキズつけないよう虫ピン等で時々清掃して下さい。
(7ページ・ノズル交換のイラスト参照)
6. 乾燥剤(シリカゲル)は湿気を吸うとピンクに変色しますが、120~150℃に加熱すると再びブルーになり使用できます。

保守点検■

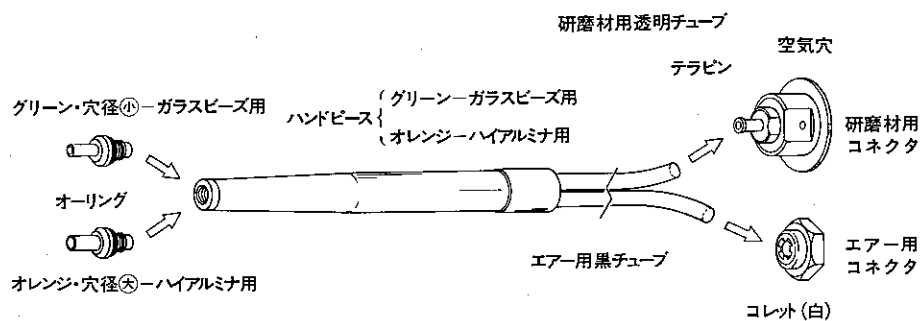
■ダストフィルタの手入れ

フィルタのチリ落としはまめに行ってください。本体右側面の止め金を外し、ダストフィルタボックスを開きぎみにして右に引張って外して下さい。フィルタ(スポンジ)を取り出し、ホコリを叩いて清掃した後に元へ戻し、ダストフィルタボックスの片方の金具を本体受け部に斜めからはめ込み、片方を本体に密着させて止め金をかけます。…フィルタは3枚入っています。

■エアーフィルタの手入れ

時々点検し、ボウルに排水がたまっていればボウル下部の突起金具を押して抜いて下さい。…エアーを止める必要はありません。

■ノズル交換



- ノズルは手で十分しめて下さい。
- ハンドピースは分解できません。取替えはチューブと一緒に交換します。
- チューブの着脱

研磨材用透明チューブの外し方

- ・研磨材用コネクタのテラピンからチューブを手で引き抜く。

研磨材用透明チューブの接続

- ・コネクタのテラピンにチューブを十分差し込む。

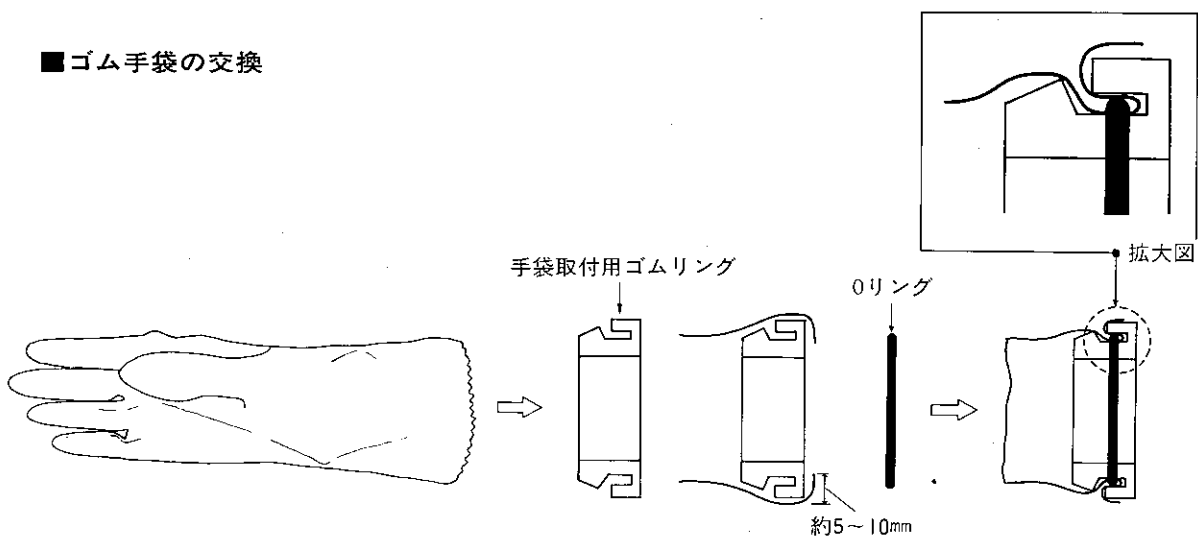
エア-用黒チューブの外し方

- ・エア-用コネクタの白いコレットを押したままチューブを引き抜く。

エア-用黒チューブの接続

- ・白いコレットの穴にチューブを十分差し込む。

■ゴム手袋の交換



1. 本体から手袋取付用ゴムリングを手袋と共に外へ取り出し、手袋取付用ゴムリングから手袋とOリングを外します。
2. 新しい手袋を手袋取付用ゴムリングにかぶせて端が5～10ミリ程均等にはみ出るようにします。
3. Oリングを手袋側から通して、手袋取付用ゴムリングの溝にはめ、押し込みながら端を折り返してOリングを溝の奥まで入れます。
4. 手袋の親指が上になる位置にし、手袋取付用ゴムリングを本体にはめ込みます。

アフターサービスについて ■

- 本製品には1ヶ年の製品保証が付いています。但し、消耗品などは保証しかねますのでご注意ください。詳しくは、保証書をお読み下さい。
- 保証期間経過後の修理は、修理により製品の機能が維持できる場合には、有料にて修理いたしますので、お求めの商店にご相談下さい。



株式会社 松風

本社 ● 〒605 京都市東山区福稲上高松町11・TEL(075)561-1112(代)

営業所 ● 東京 TEL(03)832-4366(代) ● 名古屋 TEL(052)763-2291(代) ● 大阪 TEL(06)252-8141(代) ● 福岡 TEL(092)472-7595

899AKA